

読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

岡山県矢掛町で、町内の中学生らが中心
となってイベントを企画・運営する取り組み
が始まりました。記事を読み質問に答え
ましょう。

子どもたちと地域の力で、新型コロナウイルス禍の町を盛り上げようと、矢掛町教委と町地区公民館連絡協議会は、子どもたちが中心となりイベント企画・運営をしてもらう取り組みを始めた。9月に祭りを開催する計画で、場所や具体的な催し内容について話し合いを進めている。（入野晶彦）

地元中学生が催し企画

取り組みは、コロナ禍で町内や学校のイベント、行事が大幅に制限されたり中止になったりしている状況を考慮。子どもたちが地域を舞台に活躍できる機会を設けたい、と企画した。

町内の中学生有志と町教委、同連絡協会で実行委員会を結成し5月25日に初会合。学校などの呼び掛けに応じた有志の中学生14人を中心に企画の柱を議論。「ステージイベントがしたい」「キャンプ大会はどうか」「中学校を使った鬼ごっこは」などと自由に意見を出し、多数決でイベントとしては「祭り」を開催することに決まった。

第2回は8日にあり、開催場所を矢掛中（矢掛）と町総合運動公園（同）の2候補地に絞った。祭りの中身として希望の多かった屋台についても具体的に何ができるか考えた。

ともに小北中2年の土屋香琳さんと三宅百香さんは「自分たちで地域の行事を考えられるのは楽しい。町を盛り上げられる祭りを準備したい」と話していた。今後は公民館を通じて地域住民も、祭り開催に向けサポートしていく。町教委は「地域と協力しながら形にしていくなかで新たな交流が生まれ、地域の魅力、さらには課題発見にもつながっていくってほしい」としている。

9月に祭り「楽しく盛り上げたい」

今回の実行委は29日午後4時半からやかげ文化センター。取り組みに参加する町内の中学生を募集している。問い合わせは町教委（0866-2100）。



祭りの内容を話し合う中学生＝8日

6月11日付山陽新聞、笠岡・井原・浅口圏版

Q1 矢掛町教委と町地区公民館連絡協議会はなぜ、子ども中心のイベントを企画しましたか。第1段落の言葉で答えましょう。

Q2 初会合では「祭り」を開催をすることに決まりました。議論では他にどんな意見が出ましたか。第3段落から抜き出しましょう。

Q3 新型コロナウイルス禍で約2年間、地域や学校の行事は制限されてきました。皆さんの地域や学校を盛り上げるイベントを考えてみましょう。

過去の問題は
こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。